

「事業性評価と中小企業支援」

～認定支援機関に期待すること～

開催趣旨

金融機関を含む認定支援機関は、日々果敢に挑戦し、事業リスクをとっている中小企業・小規模事業者に寄り添い、事業性評価の観点で中小企業の企業価値を高めていくことが求められています。それは、付加価値である営業CFを改善し持続的な成長を促し、ひいては国民経済の健全な発展に寄与することにもつながります。

このセミナーでは、中小企業が自らの経営課題を踏まえて将来を構想し、それに向けた戦略の策定・実行を支援する認定支援機関のさらなる活躍を後押しすることを目指し、果敢に挑戦する中小企業・小規模事業者に寄り添い、“対話”するための手法を学んでいただきます。

さらに、今話題の『ESG/SDGs経営』を実践する企業を事例として紹介し、企業から選ばれる金融機関となるためのビジネスモデル、サステナブルなモデルを構築するための最新情報をお伝えします。

日程等

日時 平成30年12月13日(木)14:00～16:15 (開場13:30)

会場 中小機構 9階 セミナールーム(東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル)※案内図裏面

参加料 無料

定員 120名 ※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

対象 認定支援機関(金融機関、中小企業支援機関、税理士、中小企業診断士等)の方々

プログラム

【主な内容】

- ・金融行政の変遷～金融検査マニュアル廃止を展望した「事業性評価」に基づく融資や本業支援への転換
- ・中小企業金融を日本全体から見た実情(正常運転資金に見合った専用当座貸越の重要性)
- ・「中小企業活性化」からみた「ミドルリスク先」以下への取り組みの重要性
- ・“事業性評価”⇒“ローカルベンチマーク”や“経営デザインシート”の活用
- ・「事業性評価に基づく融資や本業支援」の実践スキームと実例
- ・中小企業経営者と金融機関が押さえておくべき“重点”事項～認定支援機関の理解には不可欠

講師

森 俊彦

特定非営利活動法人 日本動産鑑定 会長

(プロフィール)

1979年東京大学経済学部卒、同年日本銀行入行。シカゴ大学大学院留学(経済学マスター)、ニューヨーク事務所次長、信用機構局参事役(パーゼル銀行監督委員会・日本代表)、考査局参事役(上席考査役)、金沢支店長、金融機構局審議役などを経て、2011年金融高度化センター長。14年から現職

16年～ 経済産業省「ローカルベンチマーク活用戦略会議」委員

17年～ 内閣府「知財のビジネス価値評価検討 タスクフォース」委員

18年～ 環境省「ESG金融懇談会」委員

18年～ 金融庁「融資に関する検査・監督実務についての研究会」委員

【お問合せ】 中小機構人材支援部 虎ノ門セミナー担当(分部)

メール torasemi@smrj.go.jp

TEL03-5470-1645 FAX 03-5470-1561

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

最寄駅 東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4B出口 徒歩4分

銀座線 虎ノ門駅 2番出口 徒歩7分

